

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 岐阜県高等学校総合文化祭開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 高校教育課 高校総合支援係 電話番号：058-272-1111(内8665)

E-mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,320 千円 (前年度予算額：1,320 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,320	0	0	0	0	0	0	0	1,320
要求額	1,320	0	0	0	0	0	0	0	1,320
決定額	1,320	0	0	0	0	0	0	0	1,320

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・ 県内高校生の文化活動の成果を発表する場の提供と将来の県民文化の一層の発展のための基盤づくりへの支援。
- ・ 参加生徒相互の啓発と連盟全体の技量向上、生徒たちの文化部活動への意欲向上や肯定的な態度の育成、高等学校文化部活動の充実と振興への貢献。

(2) 事業内容

岐阜県高等学校文化連盟に負担金(1,320千円)を交付。

(3) 県負担・補助率の考え方

本事業は岐阜県高等学校文化連盟との共催事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
その他	1,320	岐阜県高等学校文化連盟に負担金として交付。
合計	1,320	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次教育振興基本計画において、「文化芸術やスポーツなどの才能や個性を伸ばす機会の充実」のため、「学校等における文化活動の活性化」を行うことが目標として掲げられ、県高等学校総合文化祭の開催を支援することが明記されている。

(2) 国・他県の状況

令和7年度に都道府県高等学校総合文化祭に係る補助事業（単独）を実施しているのは、35都府県であり、その平均は2,398千円。また、他項目をまたぐ予算を計上しているのは6都道府県あり、その平均は3,123千円。なお、支出都道府県の平均は、2,504千円。

近隣県の状況

県名	予算額 (単位：千円)	事業名
富山	5,560	(未記載)
石川	2,400	高等学校文化祭費補助金
長野	5,394	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル
静岡	2,700	静岡県高等学校総合文化祭
愛知	3,280	児童生徒ふれあい文化活動推進事業
三重	1,262	みえ高文祭
滋賀	100	滋賀県高等学校総合文化祭
全国平均	2,184	

令和7年度全国高文連基本調査（令和7年7月現在）より

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和10年度（第4次岐阜県教育振興計画(R6～R10)）まで毎年度、参加生徒数4,500人及び観覧者数8,000人

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
① 参加生徒数		3,443	4,500	4,500	4,500	
② 観客数		8,906	8,000	8,000	8,000	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・岐阜県高等学校総合文化祭の開催 総合開会式をはじめ、全部門が県内各地の文化施設で発表会・展覧会を開催し、成果をあげた。参加生徒数、観客数ともに増加しており、活動を再開させ、拡大していることが確認された。令和5年のプレ大会、令和6年の全国高等学校総合文化祭開催への機運を向上させ、雰囲気醸成することができた。</p> <p>指標① 目標：7,000人 実績：4,670人 達成率：66.7%</p>
令和5年度	<p>・岐阜県高等学校総合文化祭（兼 清流の国ぎふ総文プレ大会）の開催 令和6年度の全国高等学校総合文化祭の自県開催を目前に控え、全国高等学校総合文化祭のプレ大会として開催。総合開会式をはじめ、全部門が県内各地の文化施設で発表会・展覧会を開催し、成果をあげた。観客数が大幅に増加し、本大会開催に向けて十分な広報効果を発揮し、機運を高めた。</p> <p>指標① 目標：7,000人 実績：4,233人 達成率：60.5%</p>
令和6年度	<p>・岐阜県高等学校総合文化祭の開催 令和6年度の全国高等学校総合文化祭の自県開催直後であったため、総合開会式は休止。20部会中5部門が休止したが、自県開催された国民文化祭の一事業として、15部門が県内各地の文化施設で発表会・展覧会を開催し、成果をあげた。</p> <p>指標① 目標：4,500人 実績：3,443人 達成率：76.5%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>将来の県民文化の一層の発展のためには、高校生が活動の成果を発表する場の確保が必須。総合開会式、各部会の発表会、展覧会の維持さらには拡大に大きな意義があり、県が支援するのは妥当。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>全国高等学校総合文化祭を開催したことで、当事者である高校生はもちろん、県民の関心を高めることができた。今後も引き続き、日ごろの活動の成果を発表する場を確保していくことは必須であり、県の支援は有効。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>各部門専門部長会議等へ出席し、各部門の活動状況の把握に努めている他、県高文連からの事業報告書の提出を受け、県高文連と意見交換を行い、毎年の改善を実施。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合開会式、各専門部会大会の県内広域での実施。 ・ 広報活動のさらなる工夫。 ・ 会場使用料の減免廃止や値上げによる経費の増大、少子化による財源不足。
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校文化部活動のさらなる充実と振興、将来の県民文化の一層の発展のために重要であり、継続すべき。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	